

平成23年9月台風15号による 肱川（直轄区間）の出水状況（第2報）

肱川では、平成23年9月20日から台風15号に伴う豪雨により大きな出水に見舞われ、大洲第二観測所（肱川橋地点）では、はん濫危険水位5.8mを超え、最高水位は6.20mに達しました。

今回は、肱川の出水状況に加え、鹿野川ダム・野村ダムの洪水調節状況についてお知らせするものです。

なお、資料における数値は、平成23年9月22日12時現在のものであり、今後修正する可能性があります。

平成23年9月22日（木）

国土交通省四国地方整備局 大洲河川国道事務所
山鳥坂ダム工事事務所
野村ダム管理所

〈問い合わせ先〉

大洲河川国道事務所 ◎工事品質管理官 みやけかずし 三宅和志（内線302）
調査課長 やすながかずお 安永一夫（内線351）
電話（0893）24-5185（代表）

山鳥坂ダム工事事務所 副所長 かわにしこうじ 川西浩二（内線204）
事業計画課長 おかざきしげのり 岡崎繁則（内線331）
電話（0893）34-2350（代表）

野村ダム管理所 管理所長 みやもとまさし 宮本正司（内線201）
管理係長 いのうえひろふみ 井上博文（内線332）
電話（0894）72-1211（代表）

◎主な問い合わせ

平成 23 年 9 月 台風 15 号による
肱川(直轄区間)の出水状況 (第 2 報)



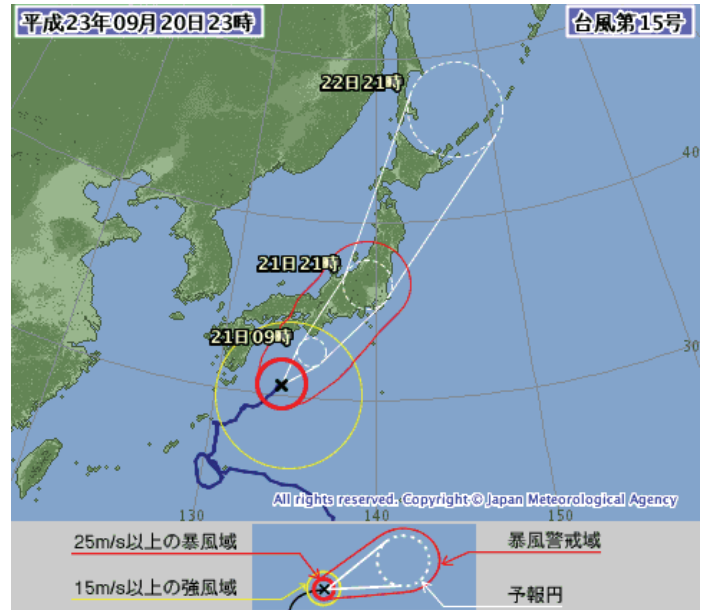
▲ 肱川橋 (肱川河口から 18.7 km 付近) (平成 23 年 9 月 20 日 18 時 25 分頃)

国土交通省	四国地方整備局	大洲河川国道事務所
国土交通省	四国地方整備局	山鳥坂ダム工事事務所
国土交通省	四国地方整備局	野村ダム管理所

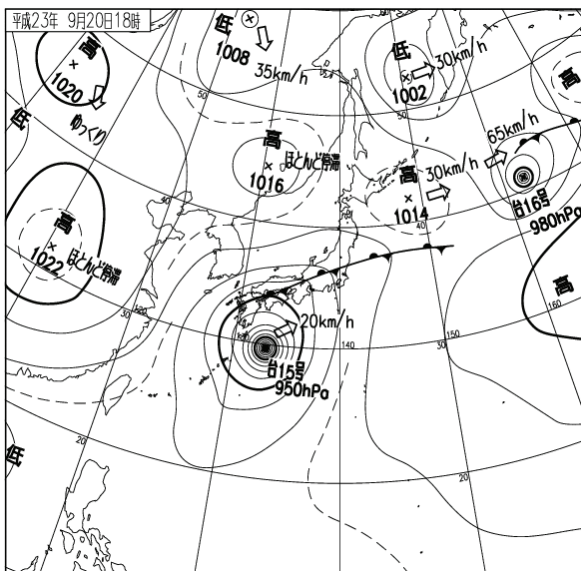
気象の概要

■台風経路図（気象庁提供）

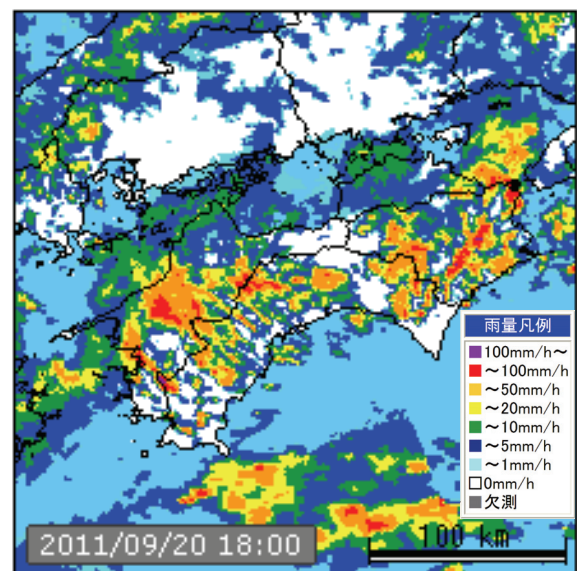
9月13日に日本の南海上で発生した台風15号はゆっくりと発達しながら西に移動し、沖縄本島近海で停滞・迷走した後、速度を早めつつ急速に勢力を強めながら九州から四国の南海上を北上し、9月20日の夕方に愛媛県に最も接近した。台風からの湿った空気により日本列島の前線が活発化し、肱川流域に多くの雨をもたらした。



■天気図（気象庁提供）



■レーダ雨量実況図（国土交通省）



■出水経過一覧(9月19日～9月21日)

9月19日 16時00分 大雨洪水注意報発表(気象庁)

9月20日 13時55分 大雨(土砂災害)警報発表(気象庁)

14時30分 水防団待機水位2.8m超過

大洲河川国道事務所 注意体制

水防警報(待機・準備)発令

18時00分 はん濫注意水位3.80m超過

大洲河川国道事務所 警戒体制

水防警報(出動)発令

18時15分 洪水警報発表(気象庁)

20時30分 避難判断水位4.80m超過

22時40分 はん濫危険水位5.80m超過

大洲河川国道事務所 非常体制

9月21日 0時50分 最高水位(6.20m)記録

4時30分 大洲河川国道事務所 警戒体制

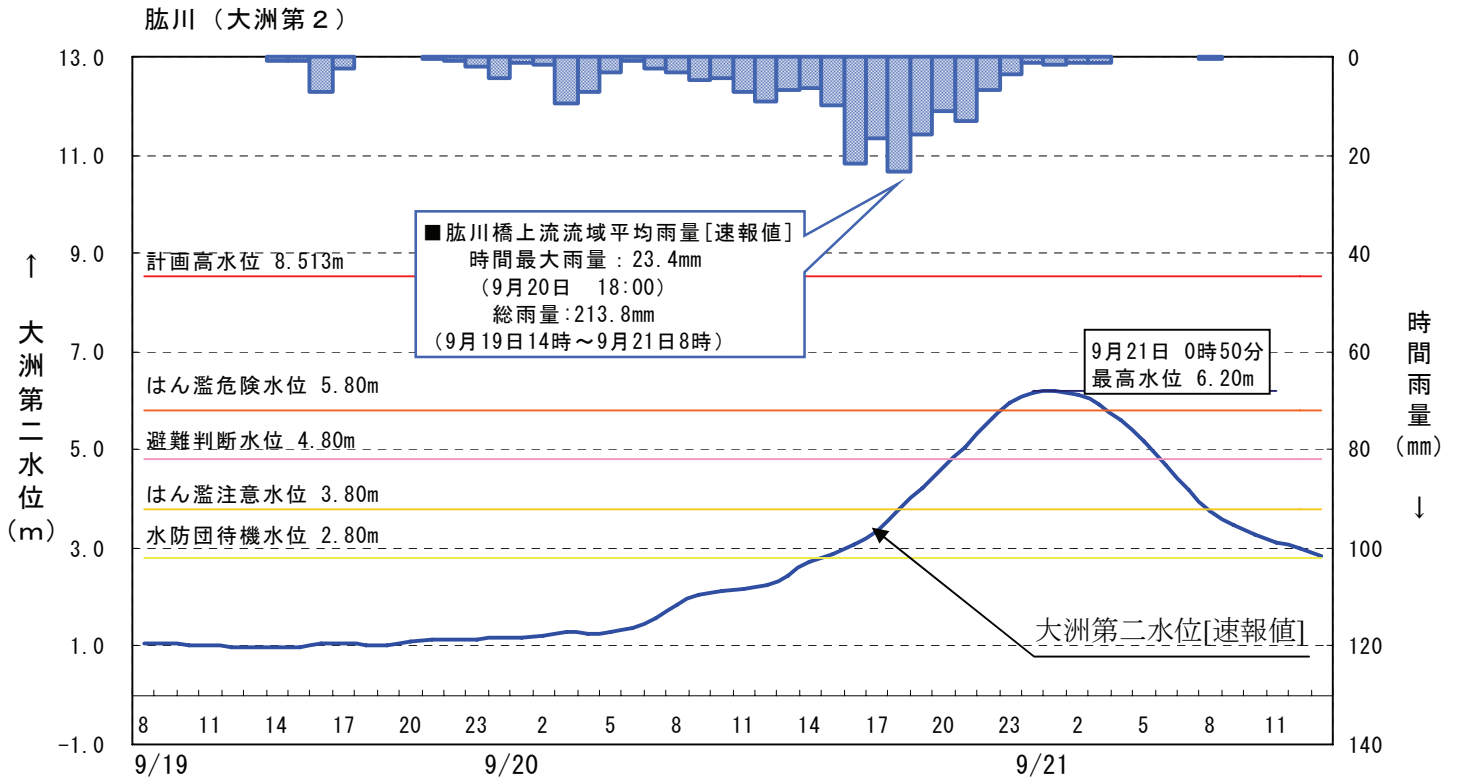
8時00分 大洲河川国道事務所 注意体制

水防警報(解除)発令

9時50分 大洲河川国道事務所 注意体制解除

肱川の出水状況

肱川では、台風15号の影響により、大洲市の大洲第二観測所（肱川橋地点）において、20日14時30分に「水防団待機水位（2.8m）」、18時00分に「はん濫注意水位（3.8m）」、20時30分に「避難判断水位（4.8m）」、22時40分に「はん濫危険水位（5.8m）」を超え、21日0時50分に「最高水位」6.20mを記録しました。22日12時には、1.56mまで低下しています。



大洲第二観測所（9月21日0時50分）

台風15号出水による鹿野川ダム洪水調節

鹿野川ダムでは、台風15号の洪水により、16日19時00分から放流を開始しました。

その後、ダムの流入量が増加し、20日15時30分に洪水調節開始流量（600m³/s）に達したため洪水調節を開始し、600m³/sを下回る21日01時09分まで洪水調節を行いました。

○鹿野川ダム上流域の雨量

流域平均雨量の総雨量 - - - - - 233mm（19日14時～21日3時）

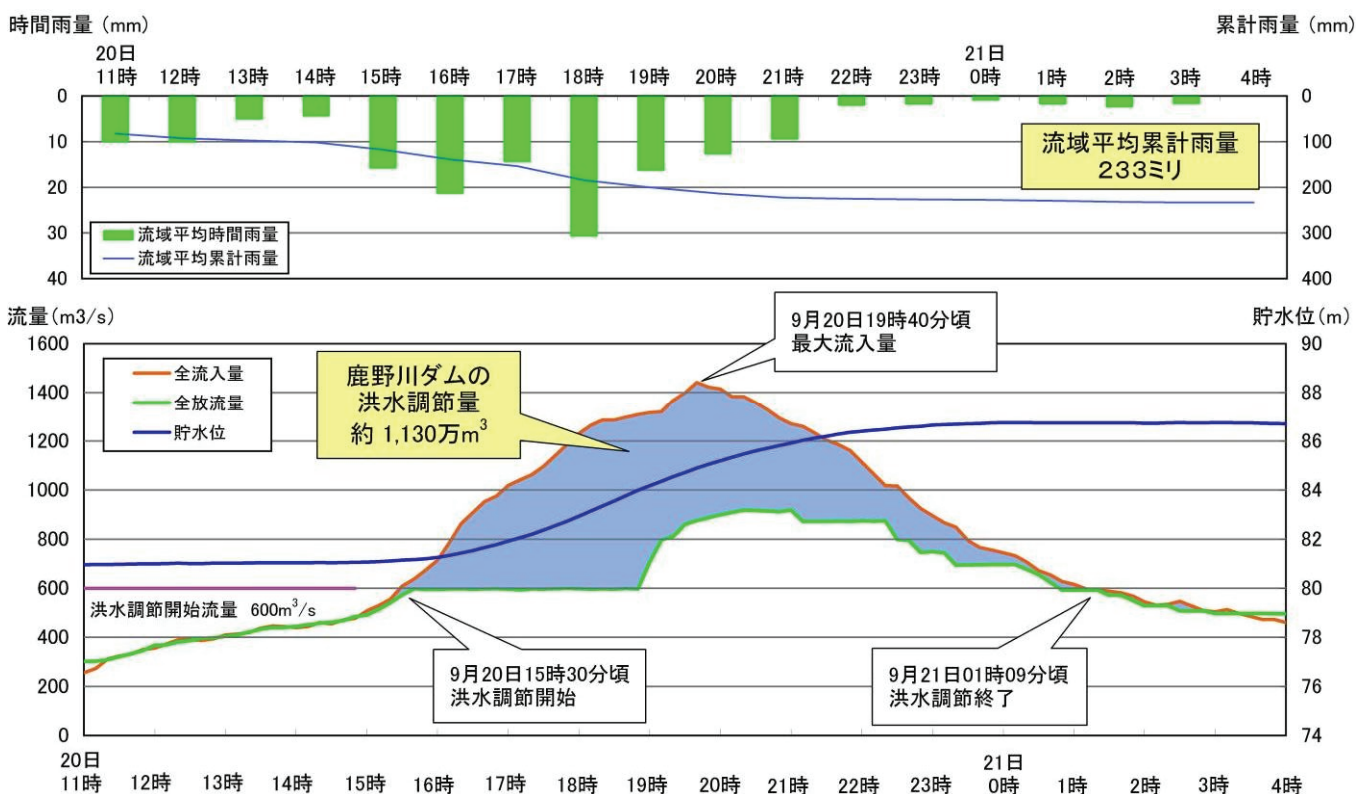
流域平均雨量の最大時間雨量 - - - 31mm（20日18時）

鹿野川ダム地点の最大時間雨量 - - 35mm（20日18時）

○鹿野川ダムの洪水調節量 - - - - 約1,130万m³

最大流入量 - - - - - 約1,440m³/s

（その時の放流量 約 880m³/s）



台風15号出水による野村ダム洪水調節

野村ダムでは、台風15号の洪水により、16日17時30分から放流を開始しました。

その後、ダムの流入量が増加し、20日16時01分に洪水調節開始流量（300m³/s）に達したため洪水調節を開始し、300m³/sを下回る20日22時19分まで洪水調節を行いました。

引き続き、下流への流量を低下させるために放流量を下げ、21日03時10分頃まで貯留を行いました。

○野村ダム上流域の雨量

流域平均雨量の総雨量 - - - - - 182mm（19日14時～21日4時）

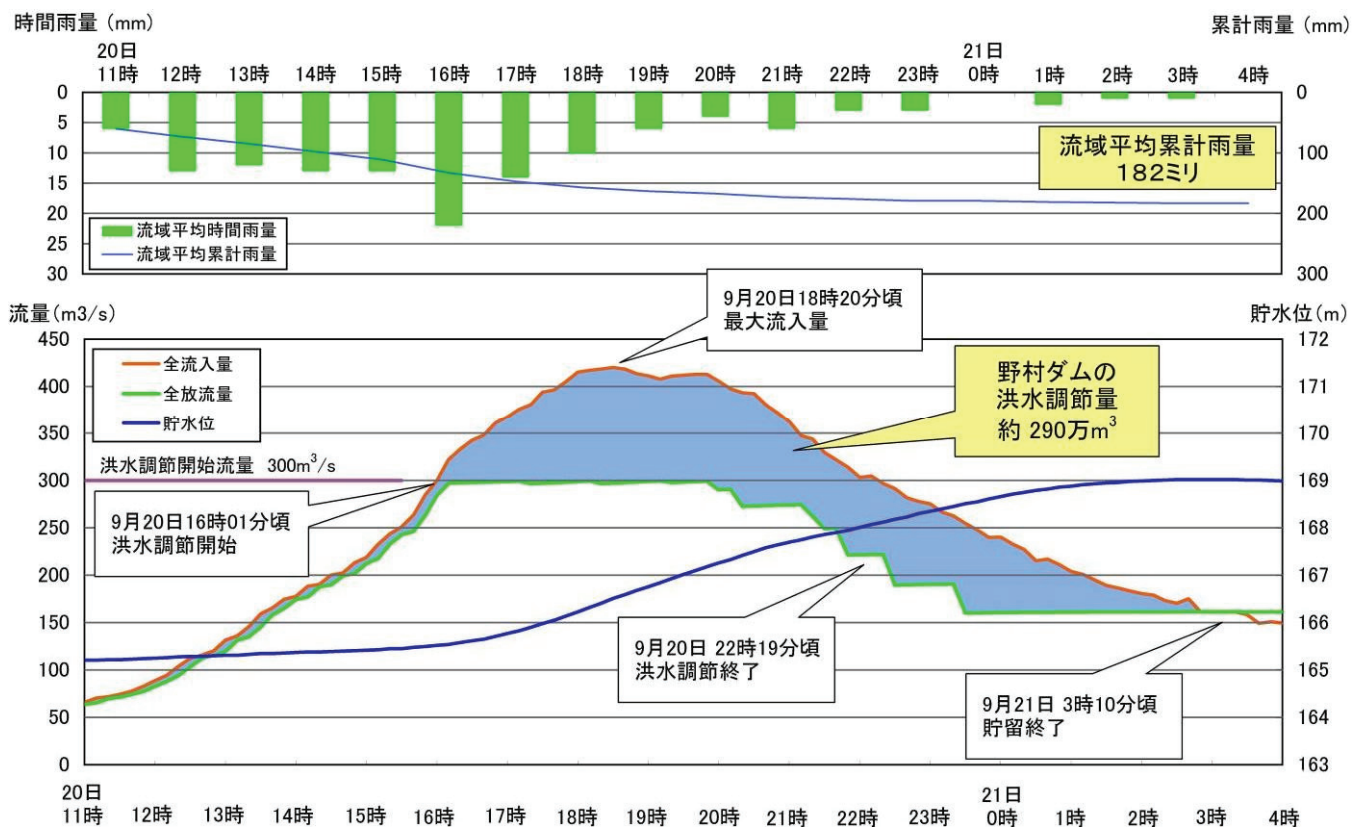
流域平均雨量の最大時間雨量 - - - 22mm（20日16時）

野村ダム地点の最大時間雨量 - - - 22mm（20日11時）

○野村ダムの洪水調節量 - - - - - 約290万m³

最大流入量 - - - - - 約423m³/s

（その時の放流量 約296m³/s）



排水ポンプ車の運転状況

台風15号出水に伴う河川の水位上昇により、肱川本川では春賀地区、白滝地区、支川矢落川では新谷地区、久米川では阿蔵地区の内水氾濫等による浸水被害を防ぐため、排水ポンプ車、樋門の操作を確実にを行い浸水被害の軽減に努めています。

設置箇所	位置	ポンプ規模	稼働時間(9月20日～21日)	備考
都谷川排水樋門	矢落川左岸(大洲市東大洲地先) 0k6+145付近	150m ³ 級 水中モーターポンプ式	(9/20) (9/21)、(9/21) (9/21) 17:30～00:15、03:48～08:45	運転終了
山高川排水樋門	肱川右岸(大洲市春賀地先) 12k4+130付近	30m ³ 級 軽量水中モーターポンプ式	(9/20) (9/21) 22:50～01:05	運転終了
滝川樋門	肱川右岸(長浜町白滝地先) 6k8+18付近	30m ³ 級 水中モーターポンプ式	(9/20) (9/21)、(9/21) (9/21) 20:40～01:42、02:45～07:00	運転終了
久米川右岸	久米川右岸(大洲市西大洲地先)	30m ³ 級 軽量水中モーターポンプ式	(9/20) (9/20)、(9/21) (9/21) 21:57～22:50、04:35～06:00	運転終了



排水ポンプ車の効果

- ・矢落川左岸に出動した排水ポンプ車1台(2.5m³/s)により、都谷川沿いの浸水被害の軽減を図りました。

排水ポンプ車の効果


- ・久米川右岸に出動した排水ポンプ車1台(0.5m³/s)により、久米川沿いの浸水被害の軽減を図りました。




肱川周辺被災状況

被害状況は下図のとおりです。
 ※浸水範囲は速報値であり、今後修正する可能性があります。

凡 例

 : 越流浸水

 : 内水浸水



地区名	被害状況				備考
	浸水面積 (ha)		家屋浸水 (戸)		
	内水浸水	越流浸水	床上	床下	
① 東大洲地区	約47ha	-	0	0	
② 二線堤内	-	約4ha	0	0	